

資料5

徳島市民病院の現況について

徳島市民病院
院長 三宅 秀則

令和2年度第1回徳島市民病院経営健全化推進会議
令和2年10月15日(木)



Tokushima Municipal
Hospital

徳島市民病院の概要



Tokushima Municipal
Hospital



基本情報

- 開設年月 1928年（昭和3年）2月
- 経営形態 地方公営企業法全部適用
⇒ 平成18年4月1日
- 理念 「思いやり・信頼・安心」
- 診療科 35科
- 病床数 335床
(一般271床、回復期リハ40床、緩和24床)



基本情報

- 看護体制 7対1 入院基本料
- 救急医療 救急告示医療機関
(二次救急対応)
- 指定・
認定・
承認
 - H20.11 地域医療支援病院の承認
 - H22. 3 地域がん診療連携拠点病院の指定
 - H23. 4 地域周産期母子医療センターの認定
 - H24. 3 徳島DMAT指定病院の指定
 - H24. 3 災害拠点病院の指定

職員数					
職員数 638名 (正規447名、会計年度等191名) ※後期研修医は正規に含む					
職種	職員数		職種	職員数	
	正規	会計年度等		正規	会計年度等
管理者	1名		理学療法士	6名	7名
医師	67名	6名	作業療法士	1名	3名
上記のほか初期臨床研修医 11名 (基9、協2)			視能訓練士	1名	
看護師	283名	81名	言語聴覚士	1名	1名
看護補助者		28名	管理栄養士	3名	2名
臨床心理士	1名		臨床工学技師	5名	
薬剤師	20名	4名	放射線技師	13名	2名
臨床検査技師	16名	8名	事務職員 (うち プロパー職員)	29名 (19名)	38名

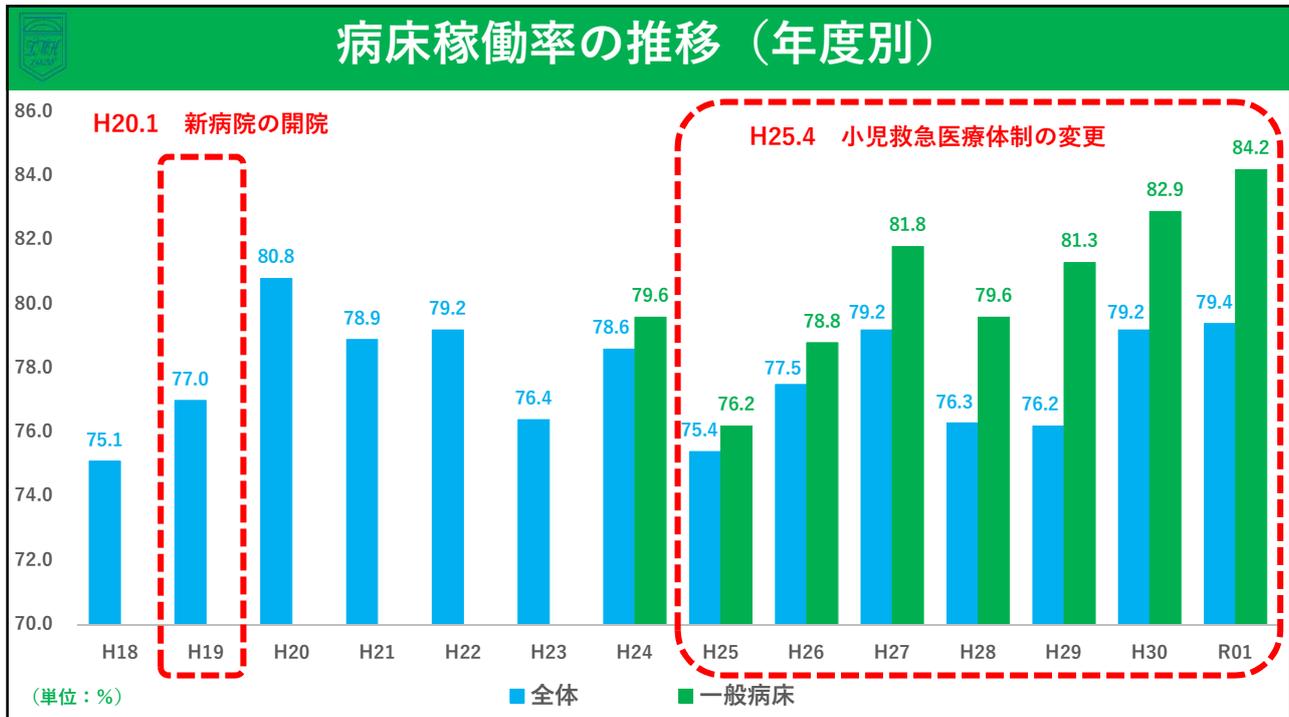
医師数																								
【診療科別】 (単位:人)																								
診療科	平成27年4月1日				平成28年4月1日				平成29年4月1日				平成30年4月1日				平成31年4月1日				令和2年4月1日			
	正	臨	嘱	計	正	臨	嘱	計	正	臨	嘱	計	正	臨	嘱	計	正	臨	嘱	計	正	臨	嘱	計
内科	13		2	15	14		2	16	14		2	16	16	1	1	18	16		2	18	18		2	20
外科	12			12	12		1	13	11	1	2	14	10	2	2	14	12		2	14	12		1	13
脳神経外科	4			4	4			4	5			5	4		1	5	4		1	5	4		1	5
整形外科	6	2	8	6	6	2	8	6	6	2	8	6	6	2	8	6	6	1	7	6	6	1	7	6
小児科	4	2	6	4	4	2	6	4	4	2	6	4	4	2	6	3	3	1	4	3	3	1	4	3
産婦人科	4		4	5	5		5	5	5		5	5	5		5	5	5		5	5	5		5	5
耳鼻咽喉科	3		3	3	3		3	3	3		3	3	3		3	3	3		3	3	3		3	3
眼科	1		1	1	1		1	1	1		1	1	1		1	1	1		1	1	1		1	1
放射線科	3		3	3	3		3	3	3		3	3	3		3	3	3		3	3	3		3	3
皮膚科			0	1	1		1	1	1		1	1	1		1	1	1		1	1	1		1	1
泌尿器科	3		3	3	3		3	3	3		3	3	3		3	3	3		3	3	3		3	3
麻酔科	5		5	3	3		3	5	5		5	4	1	5	5	5	5		5	4	4		5	4
精神科			0	0	0		0	1	1		1	1	1		1	1	1		1	1	1		1	1
リハビリテーション科			0	0	0		0	1	1		1	1	1		1	1	1		1	1	1		1	1
病理診断科	1		1	1	1		1	1	1		1	1	1		1	1	1		1	1	1		1	1
臨床検査科	1		1	1	1		1	1	1		1	1	1		1	1	1		1	1	1		1	1
計	60	0	6	66	61	0	7	68	65	1	8	74	64	3	9	76	66	0	7	73	67	0	6	73

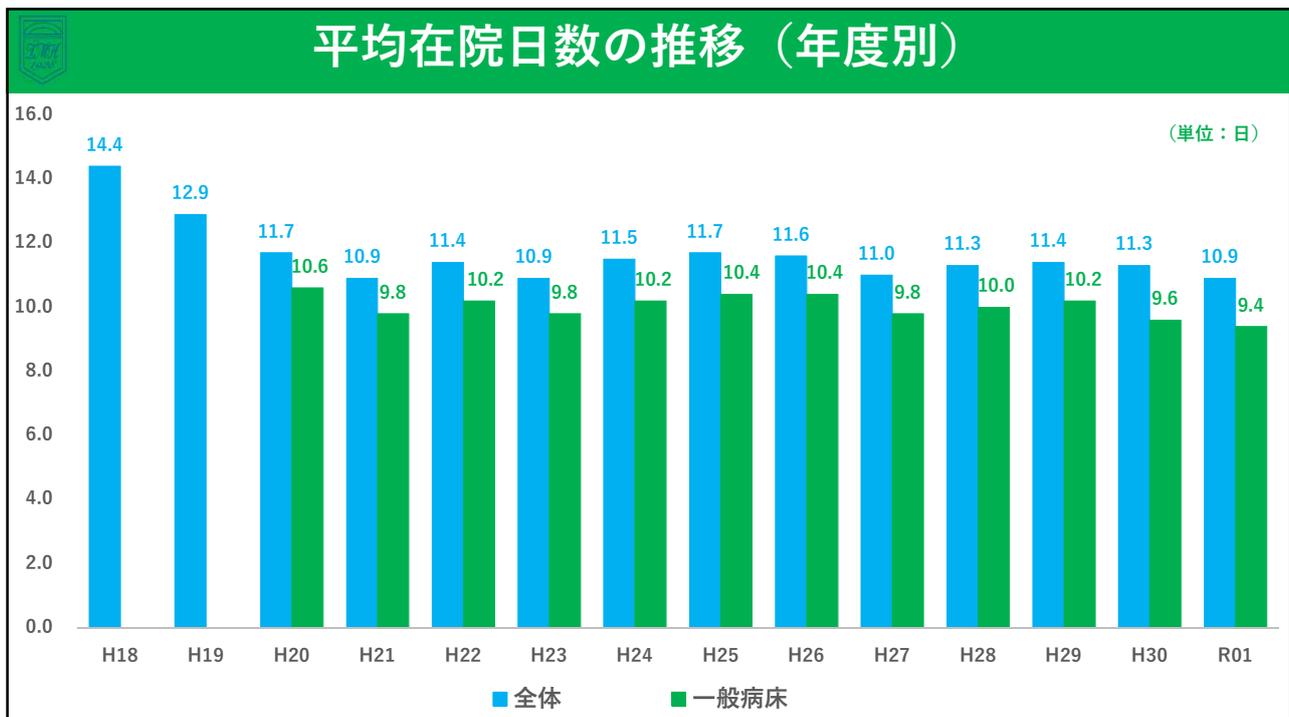
【初期研修医(基幹型)】 (単位:人)						
	平成27年4月1日	平成28年4月1日	平成29年4月1日	平成30年4月1日	平成31年4月1日	令和2年4月1日
初期研修医(1年次)	2	2	5	0	9	0
初期研修医(2年次)	5	2	2	5	2	9
計	7	4	7	5	11	9

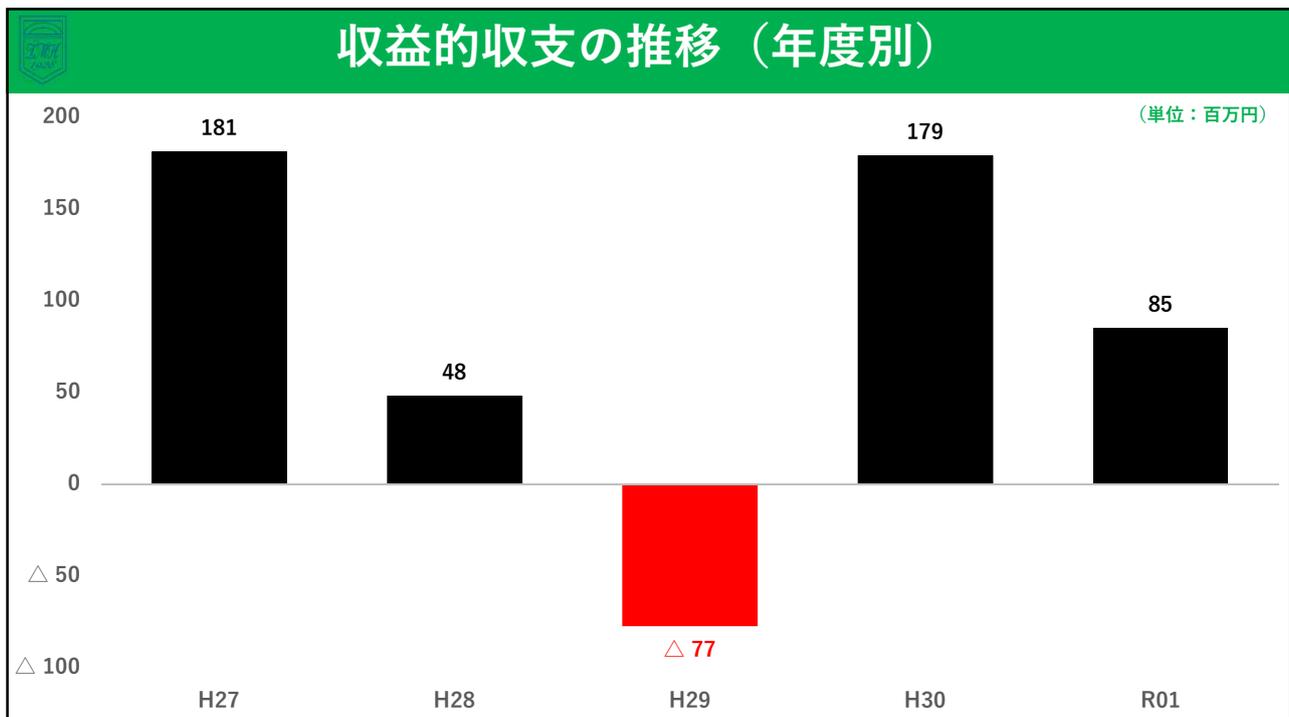
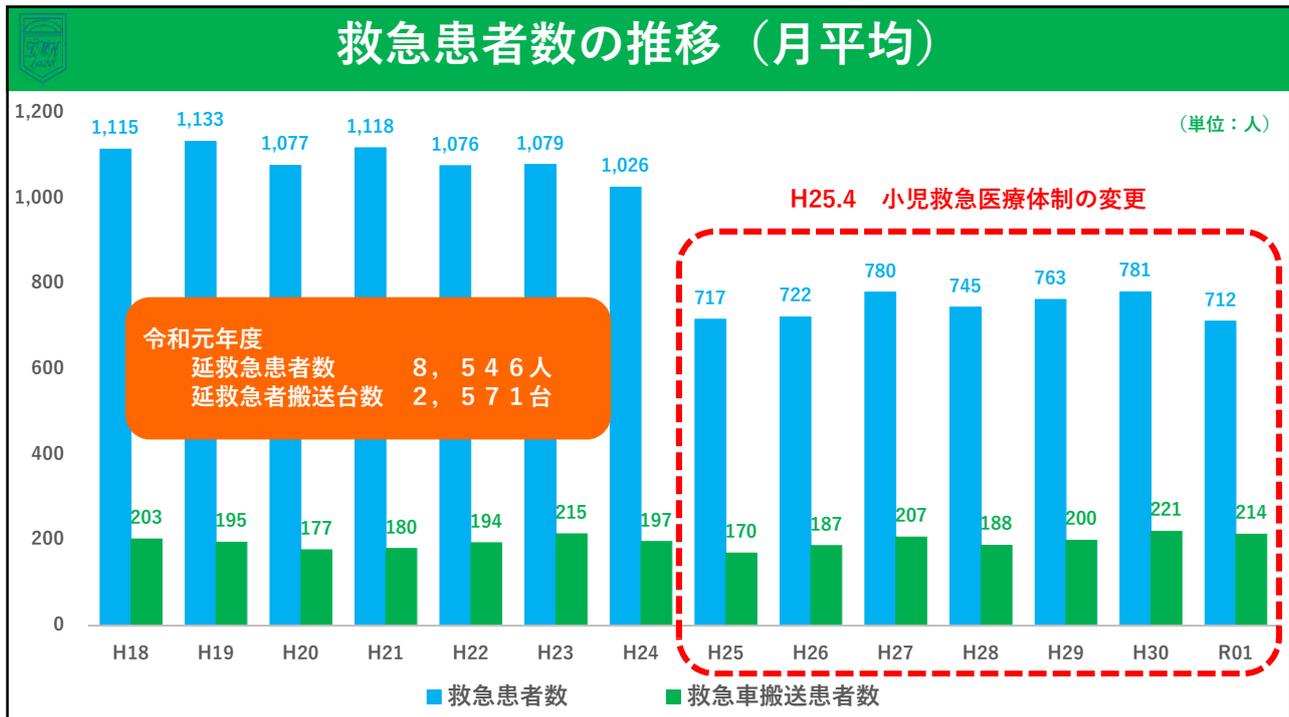
主な経営指標



Tokushima Municipal
Hospital







徳島市民病院の取り組み



Tokushima Municipal
Hospital

3本柱の充実・強化

特色ある医療の提供

地域周産期母子医療センター

関節治療センター

がんセンター

患者支援センター

急性期医療

政策医療（救急医療・周産期医療・がん医療・災害医療）

○ 周産期医療体制の充実

- ・NICUの稼働（6床）
- ・産婦人科病棟の特別個室改修（H28.12）
- ・妊よう性温存腫瘍外来の開設（H29.4）
- ・産婦人科外来の改修（H29.7）
- ・NICUの受入週数変更（H31.4）
（32週以上 ⇒ 30週以上）
- ・助産師外来の開始（R01.6）
- ・産婦人科病棟の改修（R01.9）

○ 関節疾患に対する総合的な治療

- ・リハビリ専門医の配置（H29.4）
- ・土曜日リハの開始（H29.7）
- ・関節治療センターへ改称（H30.4）
- ・リウマチ・膠原病内科の新設（H30.4）
- ・手専門の整形外科医の配置（H30.4）
- ・ハンドセラピー室の設置（H30.8）

○ がん患者へのトータルケア

- ・緩和ケア病棟の設置（H28.4）
- ・がんリハビリの開始（H28.4）
- ・がん患者の就労支援開始（H28.4）
- ・緩和ケア病棟入院基本料算定（H29.6）
- ・緩和ケア病棟専従医師の配置（H30.3）
- ・がん専門薬剤師研修施設に認定（H30.4）
- ・外来化学療法室の改修（H31.2）
- ・密封小線源治療の開始（R2.4）

3本柱の実績（令和元年度）					
地域周産期母子医療センター		関節治療センター		がんセンター	
分娩件数	547件 (586件)	関節手術件数	621件 (536件)	がん手術件数	572件 (551件)
帝王切開件数	173件 (215件)	脊椎手術件数	0件 (127件)	化学療法 延患者数	4,607人 (4,883人)
帝王切開率	31.6% (36.7%)	手の手術件数 (リウマチ含む)	265件 (191件)	放射線治療件数	3,905件 (4,270件)
NICU 病床稼働率	77.6% (84.4%)	ハンドセラピー 外来件数	320件 (264件)	緩和ケア病棟 病床稼働率	58.5% (66.1%)

※ 下段（）内については、前年度（平成30年度）実績を記載

産婦人科病棟の改修

- ◇ 本院の産科は、昭和3年の市立実費診療所の時代から現在に至るまで、徳島の周産期医療の中心的役割を果たしています。
- ◇ 令和元年9月に、妊産婦のニーズに合ったお産と快適な入院生活を送っていただけるよう、地域周産期母子医療センターの充実の一環として、内装の改修を主とした産婦人科病棟の改修工事を行いました。

改修前



➔

改修後





関節治療センターの設置

- ◇ 平成30年4月から、「脊椎・人工関節センター」を「関節治療センター」と再構築しました。これは、これまでの人工関節手術に加えて、リウマチ専門医らもチームに加わり、関節障害に悩む多くの疾患患者を対象として高度な薬物療法、機能回復手術やリハビリ療法などの治療を総合的に行うもので、特色ある先進医療の提供を目的に設置しました。
- ◇ 設置に際しては、2階B待合ホールの表示サイン変更や患者呼出表示モニター改修、1階ギプス室をハンドセラピー室・ギプス室に改修するなどしました。

(2階B待合ホール)



(ハンドセラピー室・ギプス室)



密封小線源治療室の整備

- ◇ 当院では令和2年3月から、転移のない限局性前立腺がんに対して、患者の身体への負担が少ないとされる、密封小線源療法を新たに開始しました。治療開始に先駆け、家族控室を密封小線源治療室へと改修するとともに、治療に必要な機材を整備しました。

(密封小線源治療室)





医学学生研修室の設置

- ◇ 当院は、「徳島大学医学部医学科学生の臨床実習教育の協力に関する協定書」に基づき、教育協力施設として臨床実習生の受入を行っています。
- ◇ 平成30年1月から、従来からの6年生による選択実習に加え、5年生の指定学外実習が追加されるなど受入期間や受入人数が増加しているため、学生専用の研修室を設置することにより教育・実習環境の向上を目的に改修を行いました。

改修前（嘱託医室）



(医学学生研修室)

改修後



徳島市民病院の抱える課題



Tokushima Municipal
Hospital

課 題

- **経営の健全化**
- 地域医療構想への対応
- 病床稼働率の向上
- 医師の安定的な確保（働き方改革への対応）
- 専門的な医療スタッフの確保及びプロパー職員の育成
- 高度医療機器の更新計画 など

地域医療構想に対する当院の具体的対応

2025年
当院の役割

急性期を担う中核病院として
政策医療を含め高度医療の積極的な提供

政策的・重点的な取り組み



2025 必要病床数

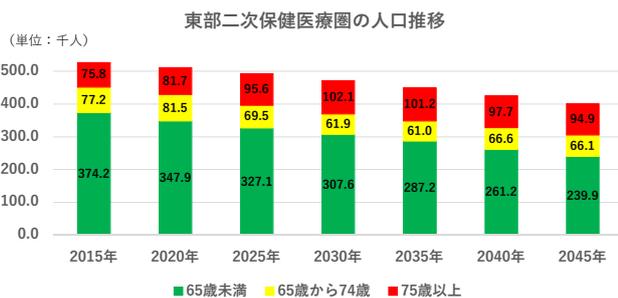
高度急性期	14床
急性期	257床
回復期	40床
慢性期	24床
計	335床

今後の外部環境の変化



Tokushima Municipal
Hospital

人口の推移と患者数の推移（推計）



○ 当院の位置する「東部二次保健医療圏」では、総人口は減少傾向にありますが、75歳以上人口に限っては、2030年度まで増加する見込みです。

○ 患者数に関しては、入院、外来ともに、受療率が高い75歳以上人口が増加する2030年度まで増加し、以降は緩やかに減少する見込みです。

資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」
；厚生労働省「患者調査（2017年9月）」
患者数は2017年の徳島県受療率（施設：病院）を用いて推計



特色ある医療と患者数の推移（推計）

